

「働き方改革のウソ」
「子どもにこそスマホを持たせよ」
「移民に不人気の日本」

2019年4月吉日

感性と直感が身につく「堀江式発想」の教科書 『疑う力「常識」の99%はウソである』 4/24(水)発売



『疑う力「常識」の99%はウソである』
定価：本体1300円+税
発売日：2019年4月24日

「当たり前」に囚われていると、一生バカを見る！ 新時代に必要なのは「疑う力」

本書は、ホリエモンこと実業家の堀江貴文氏が、政治、経済からカルチャー、教育、スポーツまで、誰もが信じて疑わない「常識」の壁をぶち破る一冊です。

常識や、マスコミが垂れ流すニュースを盲信していれば、一生バカを見る。明日を生き抜くために必要なのは、「疑う力」——。

「バイトテロ報道」から「カルロス・ゴーン氏逮捕」「働き方改革」「価格競争」「領土問題」にいたるまで、33の最新の時事ネタを堀江氏が片っ端から斬りまくる、痛快な内容です。キレ味するどい「ホリエモン節」が炸裂します！

～ホリエモンが核心をつく！「言ってはいけない」33の提言（一部抜粋）～

- ◆日本政府に税金を払うくらいなら、アマゾンに投資したほうが生活は豊かになる
- ◆キャッシュレスを笑う者は商売で泣く
- ◆すぐれた「職人技」のほとんどがデジタル化できる
- ◆「バイトテロ」を報道するくらいなら「ホンモノのテロ」を防ぐ手立てでも考えろ
- ◆尖閣諸島は中国に、竹島は韓国に、北方領土はロシアにあげちゃえば？
- ◆和牛を叩き売りするような「安売り厨」は淘汰される
- ◆「席、倒していいですか？」という非効率マナーは「自己中」人間のリスクヘッジ
- ◆すがすがしいまでの「パクリ根性」が経済を回す

著者：堀江貴文（ほりえ・たかふみ）プロフィール

1972年、福岡県八女市生まれ。実業家。SNS media & consulting 株式会社ファウンダー。現在は宇宙ロケット開発や、スマートアプリのプロデュースを手掛けるなど幅広く活動を展開。有料メールマガジン「堀江貴文のブログでは言えない話」は1万数千人の読者を持ち、2014年には会員制のオンラインサロン「堀江貴文イノベーション大学校（HIU）」をスタート。